

事業者排出量削減報告書

（宛先） 京都府知事	平成 25年 7月 26日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都港区浜松町2-4-1	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 一般社団法人 日本血液製剤機構 理事長 上田 英彦

主たる業種	生物学的製剤製造業						細分類番号	1	6	5	3
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	<input checked="" type="checkbox"/>	第12条第1項第1号	<input type="checkbox"/>	第12条第1項第2号又は第3号	<input type="checkbox"/>	第12条第1項第4号				
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで										
基本方針	省エネの推進、廃棄物排出量の削減、リサイクルの推進を進め、ISO14001環境マネジメントシステムによる環境負荷の低減を図る										
計画を推進するための体制	環境安全責任者（工場長）を長として、その下に環境管理責任者による環境委員会、ISO推進部会を設置し、事業所内の環境管理を行う										
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率					
	事業活動に伴う排出の量	14,969.5 トン	15,519.0 トン	15,400.3 トン		3.3	パーセント				
	評価の対象となる排出の量	14,946.5 トン	15,519.0 トン	15,400.3 トン		3.4	パーセント				
	実績に対する自己評価	不要設備休止、省エネ活動の推進などにより、対前年排出量はわずかに減少したが、対基準年度排出量がマイナスとなるには至らなかった									
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率				
	工場	事業活動に伴う排出の量 (山荷ベース標準原価換算)	171.00	183.00	175.00		4.68	パーセント			
		事業活動に伴う排出の量 ()						パーセント			
	実績に対する自己評価	排出量は微減、生産数量は幾分増加し原単位当りの対前年数値は改善方向となったものの増減率がマイナスに転じるまでには至らなかった									
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考					
		90.0 セント	90.0 セント	90.0 セント							
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	蒸気サロウ導入による蒸気（ガス）使用量の削減（115トン）									
	(24)年度	低温空調用外気処理除湿機の設置による蒸気量の削減（17トン）									
	(25)年度										
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	近隣地区に居住する者は、極力自転車、徒歩で通勤する									
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	ISO14001の活動の中で継続的に実施している									
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考						
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン								
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン								
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン								
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン								
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン								
	合 計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン							
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場周辺の美化活動（クリーンキャンペーン）2回/年実施										
特記事項											

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出量の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。